

海外ネットワークを活用し産地を多元化 りん酸など肥料原料の安定確保へ

中国・瓮福紫金化工股份有限公司との関係強化

JA全農は、海外ネットワークを活用し産地を多元化することで、飼料・肥料原料の安定的・長期的な確保に取り組んでいます。

特に肥料事業では原料の安定確保を重点実施策に位置づけ、海外山元との関係強化をすすめています。

わが国は肥料原料のほとんどを、海外からの

輸入に依存しています。原料を安定的に調達するため、JA全農ではりん酸（中国、米国、モロッコ、ベトナム、南アフリカ）、加里（カナダ、ドイツ、ロシア、台湾）、尿素（マレーシア）といった国々の山元と長期取引により信頼関係を築いています。

平成24年からは、中国福建省に新たに建設された、りん酸製造会社「おふし じん か じょう こん瓮福紫金化工股份有限公司」

」に出資し、経営に参加することで高品質のりん酸を優先的かつ安定的に調達しています。

同社は中国のりん酸大手「瓮福集団」と金属大手「紫金鉱業」により設立されました。JA全農は計画段階からプロジェクトに参画し、同社から肥料原料であるりん酸とりん酸液を輸入しています。



中国・福建省の「瓮福紫金化工股份有限公司」

全農が進める「たくましい農業づくり」をシリーズで紹介します。